

平成21年度欧州プラント・エンジニアリング企業のグローライゼーション調査に係る委託先の公募について

平成21年6月15日
日本機械輸出組合
プラント業務グループ

1. 調査目的

グローバル展開と現地化（グローライゼーション）が進んでいる欧州プラント・エンジニアリング企業の国際金融危機下におけるオペレーションの実態を探り、わが国プラント・エンジニアリング企業のグローバル化と現地化対策のベストミックスおよびベストプラクティスを検討し、わが国企業の課題を抽出する。
また、国際金融危機下における、欧州政府の支援策も探り、欧州企業の評価も踏まえ、わが国における政策的課題も併せて検討する。

2. 調査内容

(1) 対象企業

シーメンス、ABB、ベオリア等欧州の代表的プラント・エンジニアリング企業を(2)記載のワーキンググループにおいて検討して決める

(2) 当組合会員企業担当者等で構成するワーキンググループでの報告

(3) 調査報告書の作成（A4×80ページ以上）

(4) 事業終了後に結果報告会での報告

(5) 原則単純な再委託は認めません

3. 調査項目

(1) 欧州プラント・エンジニアリング企業のグローライゼーション構造とオペレーションおよびマネジメントの実態と企業毎の特徴

(2) 国際金融危機のオペレーションへの影響と対応

(3) 国際金融危機と各国政府（含むE C A）の支援策とその評価

(4) 国際金融危機を踏まえた欧州プラント・エンジニアリング企業の世界市場見通し

(5) 欧州プラント・エンジニアリング企業の今後の展開

(6) 日本企業のグローライゼーションの課題

(7) その他

4. 審査基準

- ・申請者は本事業を遂行するために必要な知識やノウハウを有していること。
- ・提案内容（企画案）が本事業の目的と合致し、具体的な方法が明記されていること。
- ・提案内容は、調査目的を満たし、かつ、経済性に優れていること。
- ・実施体制、実施スケジュール、見積明細等が明確になっており、かつ、事業を効率的に実施できる体制にあること。

5. 委託契約の条件

- ・委託金額：上限6,572,000円（消費税含む）（財源が違うため、2契約になる）
- ・契約期間：契約締結日から平成22年2月初旬まで

- ・提出物：報告書2部、関係資料2部
(基本的に電子データで提供)

6. 応募資格

次の要件を全て満たす法人または個人とする。

- ・当該事業に関するノウハウと調査実績等を有し、かつ、事業の達成に必要な組織体制を有していること。
- ・当該事業を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、かつ、十分な管理能力を有していること。
- ・日本機械輸出組合が提示する委託契約書の内容に同意できること。

7. 公募期間

平成21年6月15日～6月19日午後4時迄(期限内に必着のこと)

8. 応募方法

応募書類(応募書類・企画書)をダウンロード([WORD形式はこちら](#)、[PDF形式はこちら](#))し、必要事項をご記入の上、以下の添付資料とともにEメール又は郵送して下さい。

応募内容についてヒアリングをさせて頂くことがあります。なお、受理した書類は返却できませんのでご了承下さい(提出された応募書類については、当組合の規定により個人情報及び機密の保持に十分配慮します)。提出された本書類の作成費用は支給されません。

(添付する資料)

企業あるいは個人概要、調査・研究実績、経歴等(HPに掲載されている場合は、同HPのURL)

9. 審査結果

平成21年6月末(予定) HPで公表するとともに、応募者全員に通知します。

10. 申請書類の提出先及び問合せ先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 401号室

担当：プラント業務グループ 竹中

Eメール：takenaka@jmcti.or.jp

TEL：03-3431-9808

TEL：03-3431-0509

以上